

・海外感染症流行情報 2024 年 3 月

(1) 全世界: COVID-19 とインフルエンザの流行状況

COVID-19 については、欧米諸国や日本で冬の流行が収束しつつありますが(米国 CDC、ECDC、厚生労働省 24-3-22)、南米や東欧で患者数が増加しています(WHO influenza update 24-3-20)。一方、インフルエンザの患者数は欧米諸国で減少しているものの、まだ高い流行レベルが続いています。日本でも 3 月末になり、インフルエンザの定点報告数がやや増加しました(厚生労働省 24-3-22)。

(2) 全世界: 麻疹の流行状況

日本では今年になり、海外輸入例を起点とする麻疹の患者が発生しています(国立感染症研究所 24-3-13)。世界的にはアジア、アフリカなどで流行が拡大しており(米国 CDC Travelers Health 24-3-22)、こうした地域に滞在する場合は、必要に応じて麻疹ワクチンの接種を推奨しています。米国でも今年 3 月中旬までに、海外からの輸入例を中心に 58 人の麻疹患者が確認され、昨年の年間患者数を越えました(米国 CDC 24-3-18)。ヨーロッパでも今年 3 月には昨年以上の麻疹患者が発生し、オーストリア、ドイツ、フランスなどで患者数が多くなっています(ヨーロッパ CDC 24-3-15)

(3) アジア: デング熱の流行状況

東南アジア各地でデング熱の流行が始まっています。マレーシアでは 3 月中旬までに 2 万 5000 人、シンガポールでは 3000 人以上の患者が発生しており、昨年同期よりも増加しています(WHO 西太平洋 24-3-14)。タイでも 1 万 7000 人の患者が発生しており、昨年の 2 倍以上の数になっています(ProMED 24-3-14)。ベトナムではハノイで 500 人以上の患者が確認され、例年より早い流行が発生しています(ProMED 24-3-20)。東南アジアはこれから本格的なデング熱の流行シーズンに入るため、十分な予防対策をとるようにしてください。

(4) アジア: インドで流行性耳下腺炎、水痘が流行

インド南部のケララ州で 3 月に流行性耳下腺炎(オタフクカゼ)の患者が 2500 人以上発生しました(ProMED 24-3-13)。同州では水痘の患者も今年 6700 人発生しています。日本で水痘は、過去の感染やワクチン接種で免疫を持つ人が大多数ですが、流行性耳下腺炎は免疫を持たない人がいるため、

流行地域に滞在する際は出国前にワクチン接種を受けることを検討ください。

(5)ヨーロッパ:オウム病の流行

スウェーデン、デンマーク、オランダ、オーストリア、ドイツなどヨーロッパ諸国で、23 年以降、オウム病の患者が増えています(WHO 24-3-5)。特に 23 年 11 月～12 月に患者数が増加し、5 人が死亡しました。オウム病は細菌感染症で、肺炎を起こします。鳥類(ペットや野鳥)の排泄物から感染し、ヒトからヒトには拡大しません。

(6)ヨーロッパ:百日咳の流行

チェコでは今年になり百日咳の患者が 1600 人以上発生しており、過去 4 年間の合計数を越えました(ProMED 24-3-14)。オランダでも今年には百日咳患者が 1400 人発生しており、4 人が死亡しました(ProMED 24-3-20)。COVID-19 流行にともなう医療負担で、小児の定期接種が世界各地で停滞しており、百日咳の流行が再燃しています。この影響はヨーロッパでも生じているようです。

(7)アフリカ:コンゴ民主共和国でのエムボックス(サル痘)の流行

中央アフリカのコンゴ民主共和国で、今年 1 月から 2 月に 3941 人のエムボックス患者(疑いを含む)が発生し、271 人が死亡しました(WHO Press Briefing 24-3-22)。患者の発生は全国的に起きていますが、首都キンシャサ周辺や東部の南キブ地方で多いようです。患者は小児が多く、患者との接触で拡大している模様です。エムボックスはサル痘と呼ばれていた感染症で、22 年 5 月ごろから性行為などにより世界的な流行が起きていました。今回、コンゴ民主共和国で増加しているのは、世界流行しているウイルス(Clade 2b)とは別系統のウイルス(Clade 1)で、致死率がより高いとされています。WHOの報告では、現時点でこの系統のウイルスの流行は、コンゴ民主共和国以外では起きていないとのことです。